

人権学習展開例

第1学年

- 主題名 いじめ問題の解決に向けて
- 教材名 どうして? ～「いじめ」について考える～
- 人権学習の視点 個別的な視点「子どもの人権問題」
- 主題・教材について

いじめについては、「どの子どもにも、どの学校にも起こり得る」ものであり、状況によっては、不登校や中途退学の原因になり、最悪の場合は死に至ることもあるきわめて深刻な問題であるということを認識する必要がある。本教材を通して、いじめは許されない人権侵害であることを理解させるとともに、いじめを自分自身の問題としてとらえさせ、主体的に問題を解決しようとする態度を育てたい。

●ねらい

正しい行動を理解していても、なかなか実現できない人間の弱さについて考えさせることを通して、いじめ問題を自分自身のこととして捉えさせ、問題を解決しようとする意欲・態度を身に付けさせる。

●関連する教材

- 人権学習資料集〈小学校編Ⅳ〉「6 いじめは残酷だ」(第5・6学年用)
- 人権学習資料集〈小学校編Ⅳ〉「7 いじめの種 ぼくめつ作戦～見つめ直そう 自分のクラス～」(第3～6学年用)
- 人権学習資料集〈中学校編〉「14 ラストシーンはこうでなくっちゃ」(第1学年用)

●本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。		
	○これまで(小学校)のいじめの学習を振り返らせる。	一斉	○いじめについて、これまでの学習を自分の言葉で説明する。	○いじめの構造を押さえ、立ち位置は可変的なものであることを理解させる。 ○いじめられる者の苦しみを第一に考えるべきであることを確認する。	
展開	○配布資料①を読ませ、その後の行動(対応)を考えさせる。	個別	○「どうして?」の前半を読み、ワークシートの(1)(2)について考え、記入する。 →このやりとりをいじめだと思うか? →自分ならこの後、どうするか?	○生徒の本音に迫れるよう、自由に考えが表現でき、多くの意見が出せる雰囲気をつくる。 ○自分の行動が、他の人にどう影響するのかも想像させる。	ワークシート
		一斉	○考えを発表し合い、交流する。	○なつみやりかがすぐに返信しない理由を問いかけ、このグループの人間関係の問題点を浮かび上がらせる。	

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展 開	○配布資料②を読ませ、問題点を考えさせる。	個別 グループ	○ワークシートの(3)について考え、グループで交流しあう。 →登場人物それぞれの立場から問題点を考える。 ・みずほの行動を止められなかった ・なつみのみずほを理由にいじめに加わっている	○なつみたち3人の中で互いの行動をしぼる同調圧力があり、いじめに拍車をかけていることを理解させる。 ○みずほを理由に自分の気持ちを正当化していることに気付かせる。	
	いじめ問題の解決に向けた行動を考えよう。				
	○問題を防止、解決するための行動について考えさせる。	グループ 一斉	○とるべき正しい行動を考える。 ○正しい行動ができない自分自身の弱さを見つめ、乗り越える行動を考える。	○みずほを止めることが正しい行動であることを確認し、なぜそれができなかったのかに迫る。 →グループ全員にとってのより良い解決方法はないか。 みずほの思いも聞き出し、ゆみとの間を仲裁することはできないか	
まとめ	○本時のまとめをする。	一斉	○ワークシートの(4)について考え、記入する。 ○本時の学習を振り返り、自分が感じたことや考えたことをまとめる。	○自分ならどのようなメッセージを打つか考えさせる。 ○いじめ問題の解決に向けて、自分にできることが必ずあることを意識させる。 ○問題解決に向け、具体的に行動することの大切さを押さえる。 ○いじめは絶対に許されないことを理解させ、これからの行動、生き方に関連させて書かせる。	

●評価

正しい行動を理解していても、なかなか実現できない人間の弱さを考えることを通して、いじめ問題を自分自身のこととして捉え、問題を解決しようとしているか。